



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和6年2月26日
学校だより3月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子

電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



育ちと学びを支える^{いしづえ}礎 ～1年間の感謝を込めて～

校長 犬塚 真

今年の春一番は昨年に比べて2週間ほど早かったそうです。朝の寒さが和らぐと、寒い時季には少しうつぶき加減だった子どもたちも、顔をあげて登校してくるようになりました。学校の梅の木もいつしかたくさんのお花を咲かせ、あちらこちらから春の訪れを感じるものです。残りわずかとなった今年度、子どもたちも学習のまとめの中で色とりどりの素敵な花を咲かせています。



先日、1年生の子どもから、国語で勉強している「たぬきの糸車」の音読発表を見に来てほしいという手紙をもらいました。当日の発表を見て驚いたのは、音読発表と言いながら子どもたちが誰一人として教科書を手にしておらず、すべて暗唱していたことです。各自が1文ないし2文を担当して物語を進めていくのですが、一人ひとりが自分の順番を正確に覚えるのもなかなか難しいことだと思います。さらに、身振り手振りを加えたり、複数の子どもたちが声をそろえる箇所を設けたりと、かなり高度な構成でした。練習の中では、みんなでがんばってきたことが仕上がっていく喜びも存分に感じられたのではないのでしょうか。発表をする子どもたちの楽しそうな表情が印象的でした。

子どもたちは日々の学校生活や学習を積み重ねながら様々な力を身に付けていますが、その素地は就学前の幼稚園や保育園、家庭や地域での様々な体験の中で培われてきたのでしょう。知識や技能、思考力の芽生えのみならず、好奇心や感受性、自立心や協働性といった人間性の素地があるからこそ、子どもたちの学びはより豊かになっているのだと思います。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、子どもたちが集う場面や地域の方と交流する機会を増やすべく、様々な活動を再開してきましたが、そこでは人とのつながりを通してまちぐるみのあたたかな風土をいつも感じたものでした。この風土は子どもたちの育ちと学びを支える^{いしづえ}礎となっているにちがひありません。

今年度も、保護者の皆様、地域の皆様にたいへんお世話になりました。また、学校運営協議会の皆様、支援員や教育ボランティアの皆様、PTA 役員・委員の皆様方に支えられながら教育活動を進めていくことができましたことを深く感謝申し上げます。この後には、卒業式、修了式を控えています。今年度も最後までお力添えを頂ければ幸いです。